

四万十図書館だより

発行*四万十市立図書館

装いも軽やかになり、春の訪れを感じる心地よい季節になりました。
今年度も図書館では、市民の皆さまが本に触れあうことができるようなさまざまな行事を予定しています。今月は、児童行事『ぬいぐるみとしょかんおとまりかい』を開催します。5月以降の行事についても順次、図書館だより・広報・ホームページなどでお知らせします。

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

→休館日

4月図書館情報

四万十市立図書館 ADEAC デジタルアーカイブが4月1日(水)にリニューアルします。

※デジタルアーカイブとは、歴史的・文化的に価値のある文書・写真・映像・美術品などの資料をデジタル化し整理・保存して、インターネットなどで検索・活用できるようにする仕組みです。

図書館のホームページで閲覧できます。

一般展示

「がんを考える」

がんに関連する本を展示し、お持ち帰りできるパンフレットを設置しています。

場所：一般展示コーナー

郷土展示

「高知の写真」

四万十川などの高知県内各所を撮影した写真集を展示しています。

場所：郷土展示コーナー

児童展示

「おともだち」

「ともだち」をテーマとして、絵本や小説などを展示しています。

場所：児童展示コーナー

追悼展示

「竹下文子さん追悼展示」

3月10日にご逝去された竹下文子さんの著書を、絵本を中心に展示しています。

場所：おはなしの部屋入り口



新着本紹介



小説	『南総里見八犬傳 上・下』 滝沢 馬琴
『青天』 若林 正恭	『ノーウェア・ボーイズ』 井上 先斗
『青のナースシューズ』 藤岡 陽子	『花檻の園』 北沢 陶
『浅草観音裏小路』 坂井 希久子	『微笑み迷子』 新堂 冬樹
『明日、あたらしい歌をうたう』 角田 光代	『舞う砂も道の実り』 井戸川 射子
『アナヅラさま』 四島 祐之介	外国文学
『夫を亡くして』 門井 慶喜	『記銘師ディンの事件録』 ロバート・ジャクソン・ベネット
『ギアをあげて、風を鳴らして』 平石 さなぎ	『名前のないカフェ』 ローベルト・ゼーターラー
『劇場という名の星座』 小川 洋子	郷土
『言問ラブソディ』 小野寺 史宜	『健康へんろ』 眞下 清 他
『ゴルフ人生、泣いて、笑って』 江上 剛	『幻生林』 前田 博史
『スコッパーの女』 山白 朝子	『坂本龍馬全書簡』 坂本 龍馬
『外の世界の話聞かせて』 江國 香織	『生誕200年 河田小龍展』 高知県立美術館
『戦う白衣の天使』 櫻庭 由紀子	『デザインノート Premium』
『釣り侍』 佐藤 賢一	『浜田浄 めぐる 1975-』 高知県立美術館
『DANGER』 村山 由佳	『三嶽伊紗 カゲヲウツス』 高知県立美術館
人生	健康
『カウンセリングとは何か』 東畑 閑人	『うちの子、今の食事で栄養的に大丈夫ですか?』 面家 健太郎
『葬式坊主なむなむ日記』 松谷 真純	『100歳アイ』 伊勢屋 貴史
『なりたい自分になる! 100の新習慣』	料理
歴史	『小麦粉なしのミニマルおやつ』 kanon
『「アーネスト・サトウ公使日記」と新生・明治』 山崎 震一	『賛否両論笠原がみなさんの自炊を応援する本』 笠原 将弘
『張作霖』 澁谷 由里	『ツレヅレハナコの中からだ整え弁当』 ツレヅレハナコ
社会	『春巻きワンダーランド』 小室 千春
『インフレの時代』 渡辺 努	『ぬか漬けとアレンジ発酵料理』 寺本 りえ子
『「右派市民」と日本政治』 松谷 満	商業
『捕食』 清水 将裕 他	『キッチンカービジネスのすべて』 山下 義 他
『森永卓郎の戦争と平和講座』 森永 卓郎	『まちに生きるローカル商店』 UR ローカル商店研究会
仕事	趣味
『コミュカが高い人が話しながら意識していること』 安達 裕哉	『いちばんやさしい健康マージャン入門ドリル』 日本健康麻将協会
『社会人1年目のピンチを乗り切る仕事術』 鈴木 真理子	『絵巻の楽しみ』 山本 陽子

四万十市立図書館 利用案内

開館時間・休館日 午前9時～午後7時／館内整理日(毎月最終金曜日)・年末年始・蔵書点検期間など
 貸出規則 図書10冊(2週間)／雑誌5冊(2週間)／DVD・ビデオ2点(2週間)
 定期的なイベント おはなし会(毎週日曜日10時20分～／場所：おはなしの部屋)
 ※夜間・土日祝日駐車レーンを確保しています (守衛棟北側縦列駐車3台分)